

（他人事ではない身近な事例から、 事故防止のポイントを学ぼう）



JJN ブックス 注射・点滴エラー防止 「知らなかった」ではすまない! 事故防止の必須ポイント

川村治子 編 AB判・132 ページ

定価 2,310 円(本体 2,200 円+税 5%) ISBN 978-4-260-00203-5 医学書院 2007

評者

長尾幸恵

神戸市立医療センター
中央市民病院看護師長

新人がひとりで動き始める時期こそ 注意が必要

4月に迎えた新人看護師たちも病棟での業務にも少しずつ慣れ、ひとりでできることが増えてきている。おかげで、先輩たちには一息つく時間もでき始めた。だがそれでも、「えっ、ナニナニ? 何してるの?」「そういうことは、ちゃんと報告してね」と、新人たちの一挙一動に常に目を光らせてはいる。なぜなら先輩たちは、新人がひとりで動き出し、報告すべきこととそうでないことの判断がつかない今が、一番危険なことを知っているからである。

病棟においてはこのように、新人も先輩も皆が事故を起こさないようにと日々注意しながら働いている。そんななか、師長である私は、新人のがんばりと先輩の厳しいチェックを信じて、「大きな事故が起きませんように」とほとんど祈るような気持ちで毎日を過ごしている。本書に出会ったのは、ちょうどそんな時だった。

「人は時に誤りを犯す」ことが前提

まず、前書きに「経験を積んだ人でも、優秀な人でも、完璧ではありません。時に誤りを犯すことがあります」とあり、とても共感できた。そして「注射・点滴の事故は、起きた時の結果の重大性から、

最も重要な医療事故であり、だからこそ、その事故防止は、最優先で取り組まなければならない」とあった。まったくそのとおりである。

本書の構成は、1999(平成11)年度厚生科学研究「医療のリスクマネジメントシステム構築に関する研究」(主任研究者・川村治子氏)による「注射エラーマップ」のなかから、特に重大な事故につながりうるもの全21項目が、設問と解説方式でまとめている。まず「この問題が解けますか?」では、自分の知識の確認ができる。次に「こんな経験ありませんか?」では、身につまされるような、けっして他人事ではない身近な事例の数々があがっている。そして「事例から学びを深める」と「事故防止のための基礎知識」では、必要な基礎知識とミスを防ぐための業務上の注意点が、とても分かりやすく整理されている。

新人は自らの知識を、先輩は指導のための知識を深められる

内容のすべてが臨床実践に直結していることばかりなので、新人が本書を読むことで、点滴・注射に関する多くの知識を身に付け、実践に役立つであろうと期待できる。そして先輩たちは、事故から身を守ることができるだけでなく、さらに、新人に対して予測性を持って指導することで、新人に目を光らせなくてもよい時間を徐々に増やしていけることだろう。

■ご購入は、最寄の医書専門店または医学書院販売部 電話(03)3817-5657(直通)まで。
ホームページ(<http://www.igaku-shoin.co.jp>)からもお申し込みいただけます。